

○日本海関連

- ・北朝鮮漁船等による違法操業（大和堆）
- ・ミサイル発射
- ・木造船等の漂流・漂着
- ・北朝鮮からの脱北
- ・不審船・工作船の出没



○ロシア関連

- ・ロシア海洋調査船を確認（海洋調査は未確認）
- ・外国漁船による違法操業



○ロシア・北方領土関連

- ・日本漁船の被だ捕
- （ロシア警備船による銃撃）



○本州東方海域関連

- ・多数の外国漁船の活動



○韓国・竹島関連

- ・外国漁船による違法操業
- ・日本漁船の被だ捕
- ・韓国法執行船との対峙
- ・外国海洋調査船による海洋調査



○尖閣諸島周辺海域関連

- ・外国公船による領海侵入等
- ・中国・台湾活動家等による領有権主張活動
- ・外国漁船による領海侵入
- ・外国海洋調査船による海洋調査
- ・小型無人機（ドローン）らしき物体の飛行



尖閣諸島

○南西諸島関連

- ・中国漁船の太平洋進出



沖ノ鳥島

○離島・遠方海域関連

- ・外国漁船による違法操業等
- ・外国海洋調査船による海洋調査



南鳥島

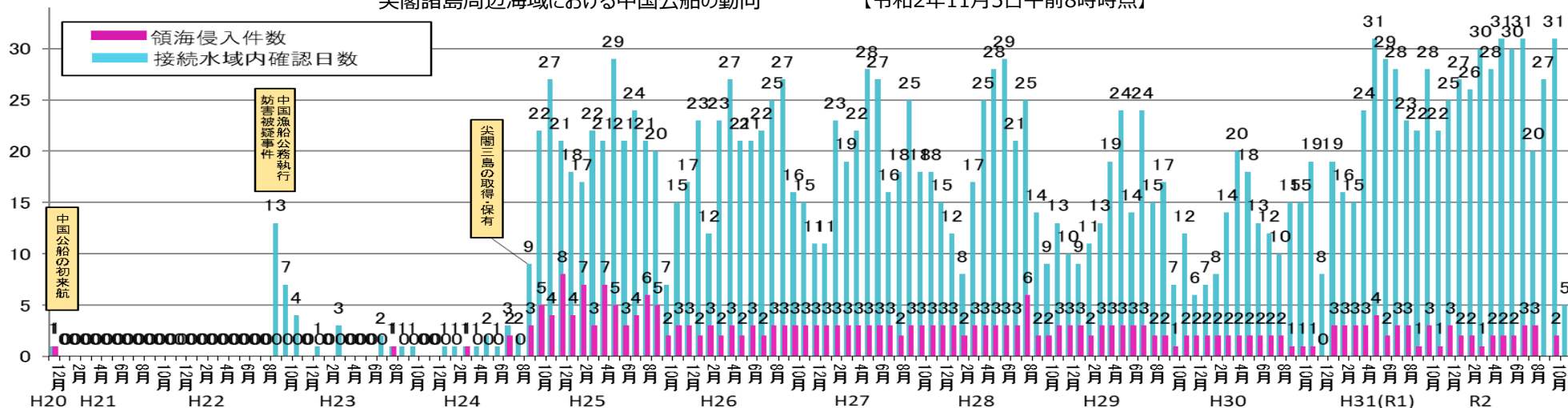
○離島・遠方海域関連

- ・中国漁船による違法操業
- ・離島への不法上陸
- ・覚醒剤等の密輸



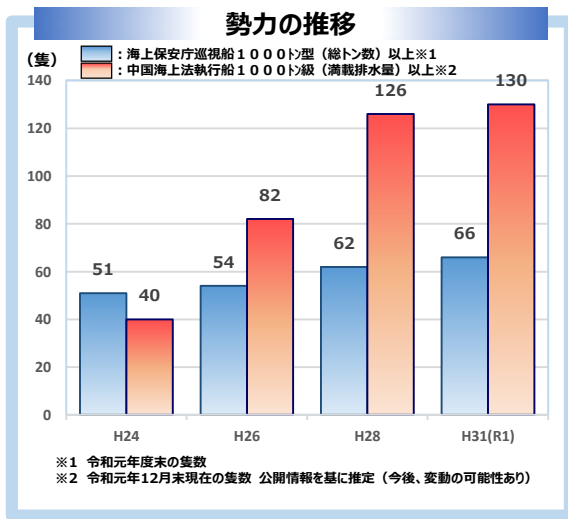
中国公船の増強・大型化・武装化

尖閣諸島周辺海域における中国公船の動向 【令和2年11月5日午前8時時点】



- ▶ 平成28年9月以降、**中国公船4隻**による領海侵入が多く確認されるようになっていた。(近年は中国公船3隻による領海侵入が多く確認されていた。)
- ▶ 接続水域内における年間確認日数(最多)：**286日**(令和2年)
※これまでの最多確認日数は、282日(平成31年/令和元年)
- ▶ 接続水域内における連続確認日数(最長)：**111日**(令和2年4月14日~8月2日)

◎ 中国公船の勢力の推移



◎ 中国公船の大型化・武装化

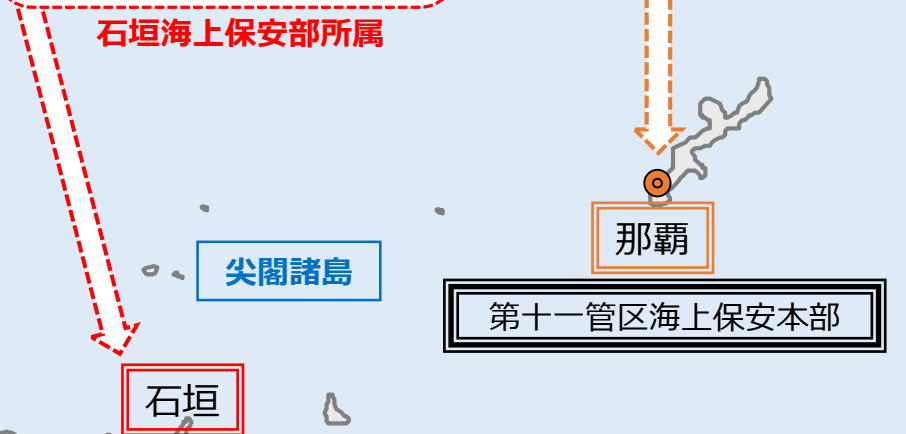
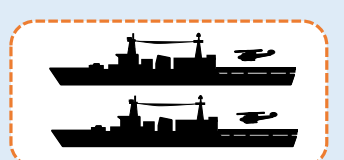
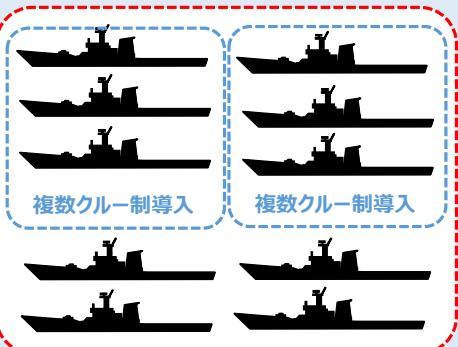
機関砲(76ミリ砲の可能性)を搭載した1万トン級中国公船

尖閣諸島領海に侵入する機関砲(37ミリ砲の可能性)を搭載した中国公船

平成24年の尖閣三島（魚釣島、北小島、南小島）の取得・保有以降、尖閣諸島周辺海域では中国海警船による徘徊、領海侵入等が繰り返されており、海上保安庁では同海域での領海警備に万全を期すため、**巡視船14隻相当による尖閣領海警備専従体制を推進**。

平成28年2月に新造大型巡視船10隻目が就役したほか、運用に不可欠な専用棧橋等の整備を行い、平成27度末に当面の**尖閣領海警備専従体制を整備**。

大型巡視船（新造）10隻（※12隻相当） **ヘリコプター1機搭載型巡視船2隻（延命・機能向上）**



※複数クルー制：巡視船3隻に対し、4隻分の乗組員（クルー）を乗船させることで4隻相当の稼働率を確保する運用手法



○平成28年12月21日、「海上保安体制強化に関する関係閣僚会議」を開催
 同会議において、「海上保安体制強化に関する方針」が決定
 平成29年以降毎年関係閣僚会議が開催され、海上保安体制強化に関する
 方針に基づき、海上保安庁の体制強化を引き続き進めることを確認



令和元年12月20日に実施された関係閣僚会議の様子

五つの柱と主な整備内容

1 尖閣領海警備体制の強化と大規模事案の同時発生に対応できる体制の整備

- ◆ 中国公船の大型化・武装化等に対応できる巡視船等の整備
- ◆ 大規模事案が同時発生した場合であっても対応できる体制



大口径の砲を装備した1万トン級中国公船



い集する外国漁船

※着手済み又は令和2年度までに整備に着手するもの

- ヘリコプター搭載型巡視船：6隻
- 大型巡視船：6隻



ヘリコプター搭載型巡視船

2 海洋監視体制の強化

- ◆ 航空機による監視体制に加え、監視拠点の整備等による監視能力の強化
- ◆ 監視情報の集約・分析等に必要な情報通信体制の強化



北朝鮮からのものと思料される漂着木造船



沖縄本島周辺において中国漁船を挟撃する巡視船

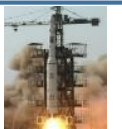
- 新型ジェット機：4機
- 中型ヘリコプター：1機
- 監視拠点の整備
- 映像伝送機能の強化
- 秘匿通信機能の強化等



新型ジェット機 (イメージ)

3 原発等テロ対処・重要事案対応体制の強化

- ◆ テロ対処等に万全を期すために必要な巡視船による対応体制の強化



北朝鮮による弾道ミサイル発射



原子力発電所の警戒にあたる大型巡視船

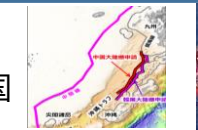
- 大型巡視船：3隻 (再掲)



大型巡視船

4 海洋調査体制の強化

- ◆ 他国による大陸棚延長申請等に対し、我が国としても必要な海洋調査体制を強化



東シナ海における中国・韓国大陸棚申請位置図



我が国周辺海域で調査を行う外国海洋調査船

- 大型測量船：2隻
- 既存大型測量船の高機能化：2隻
- 自律型海洋観測装置 (AOV) の整備
- 中型飛行機 (測量機)：1機



大型測量船

5 基盤整備

- ◆ 海上保安業務対応能力の向上を図るための人材の育成、必要となる定員の増員、教育訓練施設の拡充等



運用実習室及び艇庫 (昭和16年建造)

- 定員の増員
- 教育訓練施設の拡充
- 小型飛行機 (練習機)：5機
- 小型ヘリコプター (練習機)：1機

巡視船による外国漁船への退去警告実施隻数 令和元年 延べ1320隻（うち放水措置252隻）

※平成30年 延べ1713隻（うち放水措置513隻）

【大和堆位置図】

大和堆

北朝鮮や中国籍とみられる漁船が我が国EEZ内に侵入し、大和堆周辺海域に近づくことがないよう巡視船及び取締船を効果的に配備の上、退去警告等を実施

大和堆周辺水域における高速艇接近

令和元年8月23日の事案

- ◆ 午前9時30分頃、水産庁取締船に北朝鮮籍とみられる高速艇が接近

令和元年8月24日の事案

- ◆ 午前9時頃、監視警戒中の巡視船に北朝鮮籍とみられる高速艇が接近
- ◆ 高速艇の乗組員は、巡視船へ向け小銃のようなものを構えたほか、ビデオ撮影と思われる行動をとる

8月23・24日 事案発生位置

水産庁取締船と北朝鮮籍とみられる漁船の衝突

- ◆ 令和元年10月7日午前9時25分頃、大和堆周辺海域において外国漁船取締り中の水産庁取締船「おおくに」から、「午前9時7分頃、北朝鮮籍とみられる漁船と衝突した。」との連絡
- ◆ 北朝鮮籍とみられる漁船は、午前9時25分頃沈没
- ◆ 現場に現れた別の北朝鮮籍とみられる漁船が、漂流者(60名)を救助

おおくに搭載艇の対応状況

救命艇に乗艇する漂流者

7日0907 事故発生位置

約350キロメートル

北朝鮮漁船の状況

木造船

鋼船

北朝鮮漁船への退去警告

退去警告をする海上保安官

退去警告をする巡視船

巡視船による放水から退避する北朝鮮漁船

放水をする巡視船

水産庁取締船が北朝鮮公船を確認

- ◆ 令和2年9月29日午前8時頃、大和堆西方の我が国EEZ内において監視活動中の水産庁取締船が船籍不明の船舶を確認し、当該船舶は北朝鮮公船であると特定

【実証の概要】

期間：**令和2年10月15日～11月10日**

場所：離着陸飛行場として**海上自衛隊八戸航空基地**を利用

（有効性の確認は、日本海及び太平洋の洋上にて実施予定）

使用機体：米国ジェネラル・アトミクス社製 シーガーディアン（MQ-9B）

【実証の内容】

- ・高高度における広域監視 及び 漁船等分布調査
- ・外国漁船等の探知・調査
- ・違法操業船舶等の探証及び警告の実効性
- ・密輸容疑船舶等の捕捉・隠密監視
- ・要救助船舶等の搜索、災害発生時の被害調査等

シーガーディアン



※ 飛行実証で使用した機体

【主な諸元】

名称	：	シーガーディアン（MQ-9B）
全長	：	11.7メートル
全幅	：	24メートル
最大運用高度	：	40,000フィート以上（12,192メートル以上）
最大航続時間	：	35時間
最高速度	：	200ノット以上
主要搭載機器	：	外部監視カメラ、衝突回避用レーダー、無線送受信機 光学／赤外線カメラ、海洋監視レーダー、AIS受信機 等

これまでの取組

○学生採用数の増加

海上保安大学校

約45人/年⇒約60人/年

海上保安学校

約400人/年⇒約600人/年

○定年退職者等の再任用（令和2年5月15日現在）

フルタイム実績：820人

⇒毎年度定年退職者等の約7割

パートタイム実績：240人

○即戦力の採用

元海上保安庁職員、元船員 等

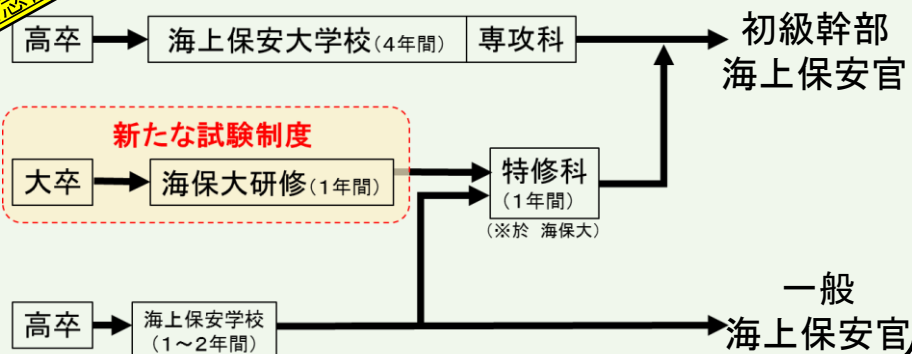
新たな人材確保策

「大卒者を対象とした幹部海上保安官採用試験」の新設

■ 新たな試験制度の概要

- ▽令和2年度から採用試験を実施、令和3年度に第1期生が入学
- ▽大学卒業者を対象
- ▽採用予定人数30名
- ▽採用後、海上保安大学校において2年間の研修を実施
- ▽研修終了後は初任幹部として巡視船艇に配属

◎概念図



海上保安学校学生採用試験の受験可能期間の見直し

■ 受験可能期間の見直し

- ▽受験可能期間を「高卒後5年」から「高卒後12年」に緩和
- ※多くの者が18歳にて高校を卒業するため、事実上、受験年齢が29歳まで緩和
- ▽令和2年10月海上保安学校入学の採用試験から適用

◎イメージ図

